



No. 254	あごら札幌 連絡先 細田	今月通信担当
	(011) 644-2927	柏原
《 今 月 の 内 容 》		
*「負け犬の遠吠え」を 読まずに考えたこと		1～2 P
*犬猿母娘の二人旅		3 P
*紅茶の時間		4～5 P
*おりえのアメリカ日記(2)		6～7 P
*情 報		8 P

2004. 8.15.発行

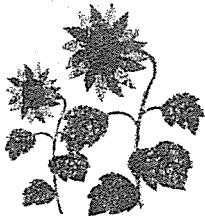
通信購読料 1200円(年間)

「負け犬の遠吠え」を読まずに考えたこと

K. S

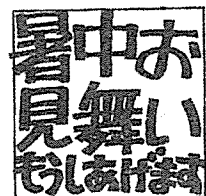
6月26日、「現代女性の恋愛・結婚観 負け犬ってなあ～に？」という学習会が性教協いしかりサークル主催で開かれ、試験前なのに(試験前だから)つい出かけてしまった。“30代以上、未婚、子なし”を負け犬と定義するこの本はあらゆる層の女性を刺激し、新聞や雑誌が相次いで取り上げたことは皆さんもご存知の通りである。2003年の合計特殊出生率が史上最低の1.29となり、少子化の原因は女性が子どもを生まなくなったせいだと思われるのだろうか？昨年「次世代育成支援対策推進法」や「少子化社会対策基本法」が成立し、国を挙げて子どもを生まれさせようとしているかのようにもみえる昨今である。

会場では、少子化の原因は晩婚化・非婚化にあるとして、30代前半の未婚率(全国26.6% 東京特別区40.6% 札幌33.1%:2000年国勢調査)と30代後半の未婚率(同じく13.8% 24.6% 19.7%)、平均初婚年齢(男29.1 女27.4:最新の人口動態統計)等に加え、小倉千加子著「結婚の条件」に見る「新専業主婦指向」や定職がないために結婚できない男性の状況などを取り上げ、親が子の釣書を持って相手の親を見つけるという「未婚の子がいる親の交流会」などの情報も紹介された。参加者もいろいろ意見を述べた際、大変活発な青少年の性的活動状況と、晩婚・非婚化する30歳代以上というギャップはどう考えたらいいのかという私の質問に対して、それは違和感なく説明可能と参加した女性から次のような示唆をいただいた。彼女の言葉に多少解説を付け加えると、「身近に対象がいっぱいいるので若い頃は切実に結婚を求めず、そろそろ結婚を考える頃にはめぼしい対象が結婚済みで、なおかつ自分の容姿も衰えだしてくる、にもかかわらず妥協はできないし現在よりも生活程度が落ちることには我慢できない、よって晩婚・非婚化が進む」このような説明にはある程度納得させられた。「いつかは結婚したい、でもリスクは負いたくない」という本音が男女ともにあるのだと考えるのは、晩婚化の理由として「独身生活のほうが自



由である」が男性で1位、女性で2位（ちなみに女性の1位は「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」：平成9年9月『男女共同参画社会に関する世論調査』であることからわかる。また、環境的にはいわゆる世間や職場での結婚圧力が低下したことも大きいし、女性にとってはいまだに家事、育児に対する負担感、拘束感がネックになっていることも特筆される。結婚や出産は上手くいくと生活レベルや幸福感の向上に繋がるが、下手をすると現状維持さえ妨げるリスクとなる。となると、たとえ相手ができたとしてもなかなか結婚や出産に踏み出せない。結婚の4分の1以上が出来ちゃった婚であるのも、そんなことでもない結婚しようという気にならないのだろうと思われる。特に仕事を続けたい女性にとっては、結婚はまだしも出産は大きな賭けともいえる。育児休業等の制度は整っていても仕事と家事と育児で大変な思いをするのは自分であり、結婚相手の男性がどの程度担ってくれるのかは未知数のうえ、生まれた子どもが丈夫な子とは限らない。もちろん、仕事をしてなくたって多年にわたって続く、子どもに関する肉体的、経済的な苦勞は引き受けるのをためらわせるのに十分である。先日も40代になったばかりで幼児を2人連れだご夫婦と山小屋で一緒になったが、つくづく「大変だなあ、よくやるなあ」と思った。ということで、我が家の子ども達が結婚しようがしまいが、子どもを生もうが生むまいがどちらでもいい。決して孫の顔を見たいなどとは思っていない。その結果、日本の人口が減ろうと、年金が少なくなろうと、まあしょうがないなという感想しかないのは、結婚や出産は自分で納得して選択することだと考えるからである。当事者でない私や国が出来るのは環境の整備とお手伝いだけである。

さて、負け犬論議とはちょっと方向違いの話で終わりそうであるが、この本が広く読まれた意義は、「結婚や子供の有無は選択の結果であれ、成り行きであれ、それぞれ個人の自由であり、本人以外が口を挟むことではない」という認識が広まったことではないかと考える。今後、少子化がもっと進むと必然的に、女性が子どもを生みながら（あるいは子離れ後）仕事をしやすい社会になるであろう。そして、男女が自然に家事も育児も行い、子育て中のカップルを見る周囲の目があたたかくなれば、結婚や出産の選択ももっともっと安楽に出来るようになるだろう。こうなれば、少子化も悪いこととばかりはいえない。嫡出子制度や夫婦同姓が結婚出産のネックの一つであるとの認識が広がれば民法も（遅ればせながら）改正されるであろう。



犬猿母娘の二人旅

タカハシ ヨシエ

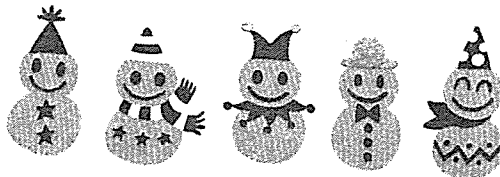
いつ頃からだろうか？フェミン（婦人民主クラブ）で、リブ世代の二世（ほとんど成人に達した子どもたち）が、親をどのように見ていたか、今は見ているか？ を特集していた。子どもたちは、俗に言うエリートではないけれど、また、もちろんエリートになることを望んでいる親はいないけど、おしなべて going my way。さて、私の娘たちはどうだろうか？ 少なくとも、第一子とは、離れている限りうるわしき母子関係。第二子とは・・・？ ほとんど音信無し、よってトラブルなし！ 愚かな私は、中国・成都、黄龍・九寨溝の旅に彼女を誘ってしまった。15泊16日。就職してしまったら、まとまった休みも取れないだろうから、母からの学生時代最後のプレゼントのつもりだった。

中国四川省の州都・成都は思いのほか都会だった。しかし日本語はもちろん、英語も通じない。中国語を少し学んだ、という娘が頼り。いつもの一人旅なら、言葉が通じるかなどおかまいなしに必死なのに、今回はゆったり構えているだけ。昨年、NYに行ったときも、第一子に「保護される私」を発見したが、今回も既に娘に頼っている。老眼の私のかわりに地図も見てくれる。すごい、すごい！、を連発しているうちに、出来て当たり前、のワナに陥って、娘とひと悶着。この時は、全面的に私が悪かった。反省！

今回の旅は、初めての中国、ということもあって、日本からのツアーに入ろうか、ぎりぎりまで迷っていた。しかし、インターネットで、成都に日本人の経営する宿を見つけ、飛行機のチケットだけを手にかけた。オーナーのマキさんには全面的に助けられた旅でとても感謝している。中国並みの料金で、日本並みの清潔さ。この好条件のせいで、この宿から一步を踏み出せなくなっている長期旅行者がたくさんいた。そして、彼らの多くは娘と同じ若者たち。すぐにみんなと仲良くなり、夕食はほとんど彼らと一緒にだった。中華料理は仲間が多ければ多いほどいろんな物が食べられてお得なのだ。いつもは私もみんなの中の一人、なのに今回は「〇〇ちゃんのオカン」に甘んじなければならなかった、ア～ッア・・・。

ある日、夜の10時も過ぎてから、「これから、ディスコに行く」という。「特に外国では夜間の外出を避ける、というのは安全のための鉄則！」「心配だから云々は・・・母さんの自己満足・・・自己満足のために私の自由を束縛しないで!!」「安心したい、という自己満足だけではない・・・勝手にするなら一人旅の時にして！」という展開でしばし・・・陰悪なムード。こんな衝突が計3回。そんなこんなで、何はともあれ無事？成田に到着した。ホッ。

件の娘からは「面白かった、もっと、もっと旅したい！！ リッチな旅しか考えられなかったけど、こんな旅（貧乏？）も出来るということがわかった。選択肢がひろがってよかった！」と。旅の最大の目的であった黄龍・九寨溝の感想よりも、母娘の弥次喜多を最初に語る事になってしまった。骨の折れる旅ではあったが、この言葉を聞いたのが、最大の収穫だった。



紅茶の時間

谷 玲子

あ、という間に秋。大輪のカサブランカカートンポと遊んでいる。EMホカシの効用で、カリズとブルーベリーが沢山、実をつけたのでジャムにした。今カボチャがごろんごろんと収穫を待っている。

旅行など、とち出来る身分ではないか、よくしたもので、友達も来たるの夏であった。学生時代の新聞会の友人が、東京と大阪から訪れた。個別では会っていたが、二人での再会は40年ぶり。日韓闘争や原子力潜水艦ポリス入港など、イキのいい記事だった。二面びち抜きて「ポリスは恐い」の見出しをつけ、学生部長ともめたりした。編集長のNOKAは、東京の小学校の先生。石原都政のそとで、校長と日々闘っている。シングルマザー。二人の子と、両親、病身の母と全部、彼女が背負ってきた。あ、たかくて頼もしいベテラン教師だ。授業の話と聞くと、笑いのなかで、愛情がいつは。児童は幸せ。

R子さんは、部落解放運動に入り、解放体育をしていたが、身体を崩しに退職した。弟災で大阪市と係争中である。動けない身体が、気功を半年間続けて元気になった。私の病気を心配して札幌に来てくれた。一人ではもったいないので、まわりの女たちに声をかけ、友人、知人施設など、びりり一週間に、教えた。

フェミニストにも声をかけた。余り関心はなかった。介護や掃除、スーパーレジなど、肉体労働の女たちは、身体を見直す余裕もないだろう。カルチャー教室でヨガや水泳などという、お金もないのかも知れない。フェミニストたちは、いい意味で自己管理の出来る地位を得たのかも知れないとR子さんと話した。彼女が一言には、資本家や男たちに、いっように使われないなら、簡単な！

体操の、その日の疲れは、その日のうちに取り、深い呼吸を身につけるの。底辺を見つけた彼女の言葉は、実感がある。帰る日、NOKAは「お金に困ったらいつでも言いなさい。大した問題じゃないから」。R子さんは「今度はあなたの身体のためにだけ一ヶ月来るから」と言ってくれた。どちらもみなとかなっているけれど胸に（みた。



札幌軍縮会議

市民による札幌軍縮会議が開かれ、主催者の平和フォーラム、市民ネットから声がかかったので参加した。ライブ、フォーラムからの発言とあったので申し込んでいた。時間はないとの事。当日、司会者も、今なら、とうとうと、様子待ちしていた。北沢洋子さん、豊田直己さん、JPLの若人、など金銭々たるパネラーなので、出る幕じゃないと思っていた。当然ながら分化ウランの話が出た。誰一人として、再処理の事を言わないので、発言する事にした。分化ウランは原発の再処理から出来る。北電も関電もアメリカの核会社になら、同然にフルセクトしているのだ。分化ウラン弾に反対するのなら再処理をSTOPさせ、原発もSTOPと言わなければ、軍務にならぬ。韓国の青年が、「北朝鮮のポルトゥガルよりか、日本のポルトゥガルが恐い」と言っていたのを聞いた。日本の反核、反戦運動は、原発を避けている点が一致命的である。次の日からの本物(?)の軍縮会議は時間のムダだから欠席した。

美浜原発の事故は殺人である

8月11日の関電美浜原発は、やはり、下請けの人や亡くなった。電気会社メーカーの人たちは、いつも安全なところにいる。だから、原発はクリーンなのだ。福島瑞穂さんからの下AXIによると、視察現場は、蒸気漏れによる配管破断などというものではなく、まさに、大爆発の、のちのすさまじい現場とのことである。事故が起これば、原発は定期点検の際にも、現場に入る人たちは、すごい被曝をする。シールドの交換など、想像を越える放射線とあがる。しかし、孫請け、ひまご請けの人たちは、正当な検査や手当てもないまま、流れ行くのだ。

原発の寿命を30年から60年に延長すると政府は発表した。正気の沙汰とは思えない。今回の事故も、勿論、関電に責任はあるが、原子力保安院こそ、責められるべきである。泥棒か泥棒を取締っているか、この国の原子力事情である。泊る歩群も美浜と同じ加圧式(三菱重工)なので、北電に、'公用負荷状'を出す。原発を全部止めてみたらどうだろうか、向に命で原発を止らないなんてことになったら、何はともあれ、ノーテンキな国民が一審悪い!



おりえのアメリカ日記(2)

渡部 織映

ニューヨークに無いニューヨークっぽさ

私は将来、ニュース番組を作り人々に伝える仕事につきたい、と思っている。アメリカではインターンシップという制度があり、学生が報酬をもらわず興味のある仕事に就き経験を得る事ができる、というもの。日本でも最近普及してきているらしい。私も数カ月、某映像製作会社でインターンシップをした。私のそこでの仕事は、日本で放送される『NY (ニューヨーク) の人や場所を紹介するミニ番組』のリサーチだった。人と人とのつながりを唯一の頼りとして、番組にふさわしい人や場所を探すのだ。私のNYでの生活は今年で5年目。NYは私にとって生活の場であり、人も場所も、日本の方がお洒落と言う事を身をもって理解している。しかし日本に住む日本人には『憧れのNY』というイメージがあるようだ。過去の放送内容を見せてもらい、正直びっくりした。ほんの一握りのお洒落でかっこいいニューヨーカーと場所のみが紹介されていた。

先日、日本から私の友人が遊びに来た。遊びに来る友人、全員に共通して言えるのは『NYってちっともお洒落じゃないんだね…』と幻滅してしまう事である。先日来た彼女は真のNYを見て、そうとうのショックを受けたようで『こんなのNYじゃない!』と嘆いていた。日本のテレビや雑誌で紹介されているNYはほんの一部である。しかし、それしか紹介しなければ、そのほんの一部がNYの全てととられても仕方が無いであろう。そもそもNYはアメリカ全州の中でも、特にあらゆる人種が住む街である。そんなNYを見てなげく彼女を、日本人観光客がもっとも好む場所、ソーホーとWilliams Burgにつれていった。この地域は、モデル、ブランド、カフェなど、いわゆる『日本人のイメージするNY』そのものが集まった場所である。しかし実際のNYには英語の話せない移民が沢山住んでいる。出稼ぎに来た違法労働者もそこらじゅうにいる。日本人のいなく、お洒落でモデルのようなニューヨーカーはほんの一握りなのだ。

私のインターンシップの話しに戻ろう。私の仕事は『NYっぽい、仕事も趣

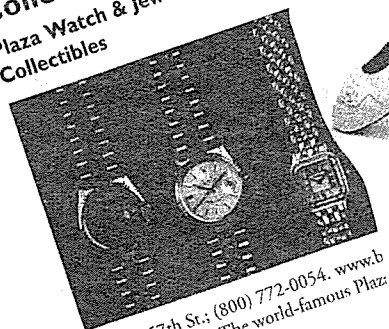
味も充実している人』を探す事。この『NYっぽい』がポイントなのである。白人がベストであり、外見が美しく、そして太った人は絶対にダメ。しかし、アメリカ人は太った人が圧倒的に多い。どんなに仕事と趣味が充実していても、太っていたら番組には出られないのである。番組に適した人物が表れると、ディレクターは直接彼らに会いに行く。しかし、外見が番組にそぐわない事が分ると、丁寧に出演を断る。日本人の抱くNYのイメージを壊すわけにはいかないのだ。

ある女性は『以前にもこうやってディレクターと会うところまでいったのに、同じように出演を断られたわ。日本の番組よ。』と言っていたそうだ。

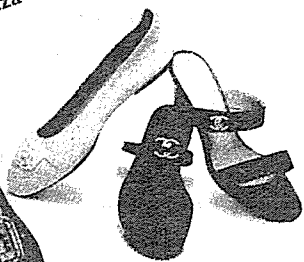
私は出演者を探すために、ハーレムにある体育館に足を運んだ。バスケットボールを趣味とするサクセスフルな女性、を探すためだ。ハーレムにあるという事もあり、ほぼ全員が黒人であった。みんな生き生きとプレーしている。中学、高校とバスケット部に所属していた私はワクワクした。何人かにインタビューしてみたところ、みんな口をそろえてこう言った。『良い仕事をしてる人なんてここにはいないよ。』この番組の主旨は、仕事も趣味も充実した人。つまり、一般的に良いとされている弁護士などを仕事とし、さらに趣味をも充実させ、人生をエンジョイしているニューヨーカー。何人かは『仕事さえしていない』と言っていた。この言葉が、仕事をしたく無いのか、仕事につけないのか、は分からないが、わたしはこのインタビューから現在のアメリカについて学んだ気がした。差別が無くなったとされているアメリカ。しかしまだまだ差別は残っているのだ。『私達（黒人）は良い仕事になんて就けないのよ』と言った彼女達のせつなそうな笑顔が目には焼き付いて、取材を終えた帰り道、私は一人暗くなってしまった。結局、私が取材した彼女達が番組に出演する事はなかった。

この『平等の国、アメリカ』の矛盾について、マスメディア学専攻の私は、授業を通じて多くを学んだ。この事については、次回書いてみようと思う。

Collectibles
Plaza Watch & Jewelry Exchange/Plaza
Collectibles



145 W. 57th St.; (800) 772-0054. www.b
guaranteed.com. The world-famous Plaza



INFORMATION

★ 住基ネット本格稼働1年を問う

やっぱり許せない！ 住基ネット 8.21 シンポジウム

と き：8月21日（土）13:00開場 13:30～16:30

ところ：北海道クリスチャンセンター 2Fホール（札幌市北区北7条西6丁目）

問題提起：結城洋一郎さん（小樽商科大学教授）「有事法制と住基ネット」

竹村泰子さん（元国会議員）

（国会活動から見た住基ネットの背景について、お話していただくよう交渉中）

住基ネット差し止め訴訟弁護団から「住基ネット差し止め訴訟の争点」

質疑応答 アピール など

主催：プライバシーアクション・札幌（TEL 817-7888 代表新田）

住基ネット差し止め訴訟を支援する会・北海道

（TEL & FAX 011-219-0514 鈴木方）

★ 女と男のトーク・セッション2004

「自分らしさ」はきつと見つかる～ラクに生きるためのエッセンス～

日時：9月3日（金）午後7時～午後9時（開場：午後6時半）

会場：札幌市男女共同参画センター ホール（3階）

（札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内）

出演者：

基調講演 香山リカ（帝塚山学院大学人間文化学部人間学科教授／精神科医）

対 談 香山リカ

演 保久（北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授）

入場：無料（入場整理券が必要です）

※入場整理券は、8月11日（水）から、札幌市男女共同参画センター、地下街ふれあい広場、各区役所、各区民センター、各区図書館、札幌市青少年センター等で配付します。

★ オロフレスキーロッジに集いませんか

オロフレ山麓ピースアクション

と き：9月4日（土）午後5時～午後8時

ところ：そうべつ町オロフレスキー場・ホットピアザのホール

おかね：大人500円 ゆでとうきび、お茶のサービスつき

内 容：①トーク「憲法の力」奥野恒久（室工大助教授）

②みんなで楽しく

ピアノつき朗読・演奏やうたなど、ゲームもあります

連絡先：無防備・非核ネットワーク北海道（TEL & FAX 011-664-0632 谷方）

★ 「更年期を考える」座談会

と き：9月11日（土）13:30～15:30

ところ：札幌市男女共同参画センター（札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内）

主 催：性教協いしかりサークル（0123-27-7170）